

平成 22 年度 第 133 回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成 23 年 1 月 11 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 20
場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 矢田学長、近藤副学長、松藤副学長、中野副学長、石神事務局長、伊藤外国語学部長、白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、伊野地域創生学群長、梶原国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、古賀都市政策研究所長、田村(慶)学術情報総合センター長、田部井学生部長、二宮教務部長、木原国際教育交流センター長、田村(大)入試広報センター長、隈本学術情報総合センター副センター長、上江洲地域貢献室副室長、王評価室副室長

配布資料

- 1-1 教員採用選考報告書 (外国語学部)
- 1-2 教員の採用について (国際環境工学部)
- 2 平成 23 年 4 月 1 日付け昇任人事に関する方針
- 3 入試直前相談会について
- 4 平成 23 年度科学研究費補助金応募状況 (学部別)

第 1 号 教員の人事について

* 資料 1-1 のとおり、外国語学部の中国語音声学・音韻学等担当教員の採用人事について、選考委員会から採用候補者 (森本直子氏) の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】 報告について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

* 資料 1-2 のとおり、国際環境工学部のエネルギー化学及び触媒工学担当教員の採用人事について、選考委員会委員の変更について提案。

○ 第 123 回教育研究審議会 (7 月 13 日開催) で設置した選考委員会の委員のうち 1 名が、応募者の推薦人となっていたため、変更するものである。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

第 2 号 昇任選考方法・スケジュールについて

* 資料 2 のとおり、平成 23 年 4 月 1 日付け昇任人事に関する方針及びスケジュールについて提案。

- 平成 18 年 4 月 1 日付け昇任人事において採用された昇任人事選考方法に従って行う。
- スケジュールについては、学長、副学長ヒアリングの後、2 月 8 日の教育研究審議会にて昇任選考委員会を設置し、3 月 8 日の教育研究審議会にて選考結果報告及び昇任者選考を行う。
- 方針の中で、「学部長等の推薦した教員に候補者を限定」としているが、地域創生学群の位置付けはどうなっているのか。
- 地域創生学群も教育責任を有する組織である。学部と同様に、地域創生学群として、昇任候補者の選定を行ってほしい。
- 実務経験も考慮して採用された教員の場合、昇任選考基準の論文数はどの程度厳格に適用されるのか。
- 昨年度までの事例にならい、実務経験者として採用された教員については、昇任選考基準の論文数に相当すると判断できる業績を個別に提案してもらうことになる。

- 40歳代教員について、昇任対象者を「博士号取得、単著の専門書、全国規模の学会誌掲載数、教員評価等を参考にして、いずれかの項目において特に業績の高い者」としている。いずれかの項目であれば、教員評価のみの業績でもよいことになるのか。
- 「博士号取得」「単著の専門書」「全国規模の学会誌掲載数」の3つを原則とするが、これ以外に教員評価の業績が著しく高く顕著な場合も参考にして協議する。
- 教授昇任数について、各学部から3名以内としているが、国際環境工学部からは4名以内となっている。どのように理解すればよいか。
- 大学全体の昇任数10名のキャンパス毎の割合の目安として、北方6名、ひびきの4名とした。あくまで数字は目途として示したものであり、選考結果によって変動するものと理解してもらいたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 入試直前相談会の開催について、資料3のとおり報告があった。
- ② 科学研究費補助金応募状況について、資料4のとおり報告があった。
- ③ 次回の審議会を1月25日（火）に開催する予定である旨、報告があった。